最終日は日本一早い福まき＝写真右
年末からイルミネーションや竹あかりが灯った＝写真中段2枚
7基のとんどが飾られ天守とともにライトアップされた＝写真右下

観るNEWS

灯りと福で満たされた城

竹あかりやとんどライトアップに豆まき

先月23日から福山城公園内の広場に初めて灯った約60本の竹あかり。ライトアップされた天守を前に、とんど7基（東・手城・深津・旭・西深津・久松台学区と蔵王三区町内会）も並び、イルミネーションも輝いた（福山商工会議所青年部主催／福山とんど実行委員会共催）。

5日からは「テイクピースプロジェクト福山」という、もう1つの竹灯りイベントが開催され、さらに50本が加わった。竹の根っこのようにしなやかに災害に強く日本が灯りでつながろうという全国規模のイベントで、福山は市民団体KOREFUKU主催。

最終日7日の午後には、音楽や書のライブパフォーマンスや、全国で一番早い「福まき」と題して、明治2年創業・徳永製菓（豆徳）協賛による1万個の豆まきもあった。たくさんの福を拾った山本穂花さん（かなりや幼稚園6歳）は「友達とたくさん遊ぶ良い年になってほしい」と話していた。

この記事の動画は「プレスシード」「Facebook」で検索